

「第2回!!街の音プロジェクトinかっぱ橋 ～道具deアンサンブル～」

主催 街の音プロジェクト実行委員会
日時 平成26年10月12日(日)・10月13日(月・祝) 2日間
会場 台東区立生涯学習センター(台東区西浅草)

この企画は、かっぱ橋道具街にある調理道具の数々を用いた音楽創りのワークショップと、かっぱ橋道具まつりに参加して、ワークショップ参加者とプロのミュージシャンによるパレードや演奏を開催する、2日間の参加体験型の音楽プログラムです。

会場は、かっぱ橋道具街通りにある台東区立生涯学習センター。2日目にはミレニアムホールでコンサートを行いました。(※当日は雨天のため道具まつりの屋外パレードが、ホールでのコンサートに変更になりました)



●10月12日(日)

プログラムの1日目、音楽創りのワークショップが開かれ、生涯学習センターの407研修室に、子どもから大人まで約25名の参加者が集まりました。

まず、「打楽器編」ワークショップが行われました。

参加者はそれぞれ1つずつ、寸胴鍋、ボウル、柄杓、パエリア鍋、トレーなど、様々な道具の中から、好きなものを選びます。

この企画では、昨年に引き続き、東京合羽橋商店街振興組合さんから、調理道具の提供や、道具まつりへの参加等、多くのご協力をいただきました。



(1)ワークショップ講師の「琴鼓'n 管(キンコンカン)」のメンバーとともに、その調理道具を響かせるのに適した撥(バチ)を、菜箸の先にスーパーボールをつけたものや、すりこぎに輪ゴムを巻いたものなど、様々な道具の中から選んでいきます。

選んだ道具からどんな音がするかを確認をしたあと、音の高さの違いに応じて3チームに分かれ、それぞれのチームの音を組み合わせ、オリジナルのリズムのパターンを作っていきます。





(←) 音を出すのに慣れたあとは、演奏しながら動く練習を行います。

(→) 次に、今回初となる、「管楽器編」ワークショップが行われました。

業務用のホースに、管楽器のマウスピースや、その代わりとなるクリーム絞り袋用口金を付け、吹き口部分を作ります。反対側には漏斗(ろうと)や、やかんなどの道具をつけて、オリジナルの管楽器「かつぱラツパ」を作りました。

琴鼓'n 管のメンバーが、その楽器を使って、デモンストレーション演奏をします。

(→)参加者は、曲に合わせて、打楽器と管楽器の両方を使って音を出す練習を行い、1日目が終了しました。

*「ニイミ洋食器店」さんからも一部調理道具をご提供いただきました。



●10月13日(月・祝)

2日目は、残念ながら悪天候で予定していたかつぱ橋道具街でのパレードが中止となってしまったため、代わりにミレニアムホールでのコンサートを行うことになりました。

午前中は、生涯学習センターの407研修室で、直前の合奏練習を行ったあと、ミレニアムホールでリハーサルを行いました。





(←)
本番では、調理道具にちなんだ衣裳ということで、エプロンや三角巾を着けた姿で、ミレニアムホール前に待機します。



午後2時30分、ワークショップ参加者と、講師の「琴鼓'n管」メンバー全員による、コンサートが始まりました。



調理道具で作った楽器の紹介を交えながら、ワークショップで創ったオリジナル曲の2曲と、NHK連続テレビ小説「あまちゃん」のテーマ曲の、全3曲を披露し、会場は大いに盛り上がりました。
(＊講師の「琴鼓'n管」は、「あまちゃんスペシャルバンド」のメンバーとしても活躍しています)

昨年に引き続き2回目の試みとして実施された「第2回！！街の音プロジェクト in かつぱ橋 ～道具deアンサンブル～」は、大盛況のうちに終了しました。

